

1 作者と作品について、教科書の「作者」「出典」の説明を参考にして次の表を完成させよう。

作者名（よみがな）	時代	父親・仕えた人
		父 親： 仕えた人：

2 次の言葉を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書こう。

- ①やうやう ②山ぎは ③闇もなほ ④飛びちがひたる ⑤をかし
 ⑥いと近う ⑦飛びいそぐさへ ⑧あはれなり ⑨言ふべきにあらず ⑩火桶

3 次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたり辞書を使ったりして確かめよう。

①あけぼの		②やうやう	
③あかりて		④たなびきたる	
⑤さらなり		⑥なほ	
⑦飛びちがひたる		⑧をかし	
⑨いと		⑩あはれ	
⑪まいて		⑫つらねたる	
⑬言ふべきにあらず		⑭つとめて	
⑮さびでも		⑯つきづきし	
⑰ぬるくゆるびもていけば		⑱わろし	

4 現代語訳を参考にして、次の□に補うことのできる一字の平仮名を書こう。

①山ぎは□、すこしあかりて ②雨など□降るもをかし ③山の端□いと近う

④日□入り果てて ⑤火など□いそぎおこして ⑥炭□もて渡るも

枕草子

B

【目標】作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣を書き出してみよう。

名前

二年組番

1 現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と好きなものや様子を季節ごとにまとめよう。

季節	時間帯	
春	明け方	・山ぎわが ()
夏		・月が () ・蛍が () ・蛍が () ・雨が ()
秋		・鳥が () ・雁などが () ・日が ()
冬		・雪が () ・霜が () ・たいそう寒いときに、 ()
		好きな「風情 <small>ふぜい</small> がある」「趣 <small>おもしろ</small> がある」「趣深い」「よい」もの

2 作者の表現のしかた（文章の書き方）の特徴をまとめよう。